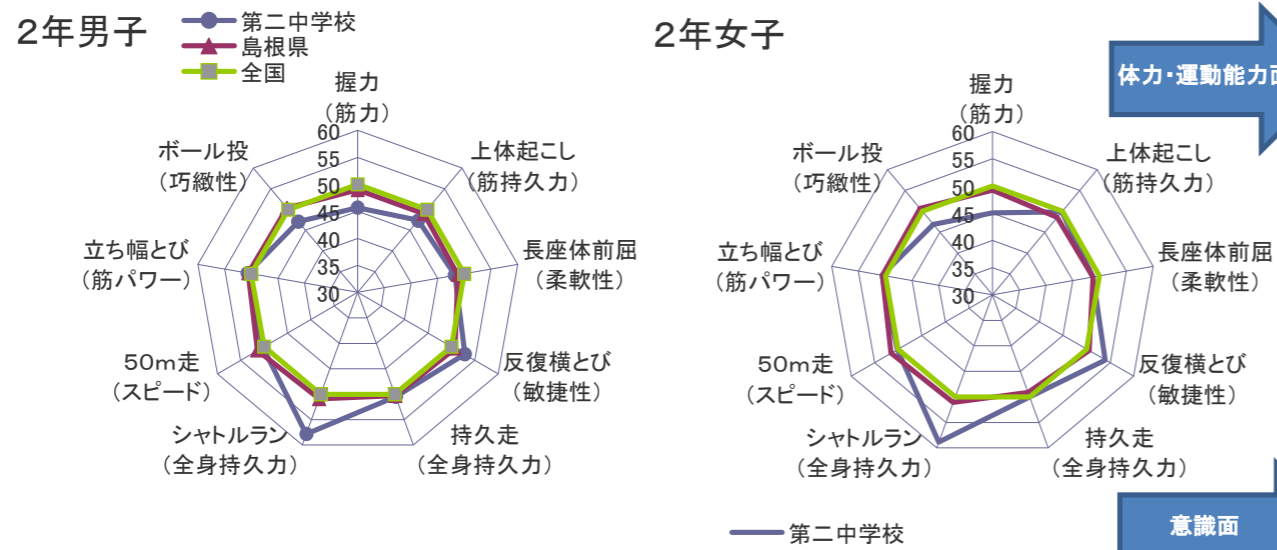
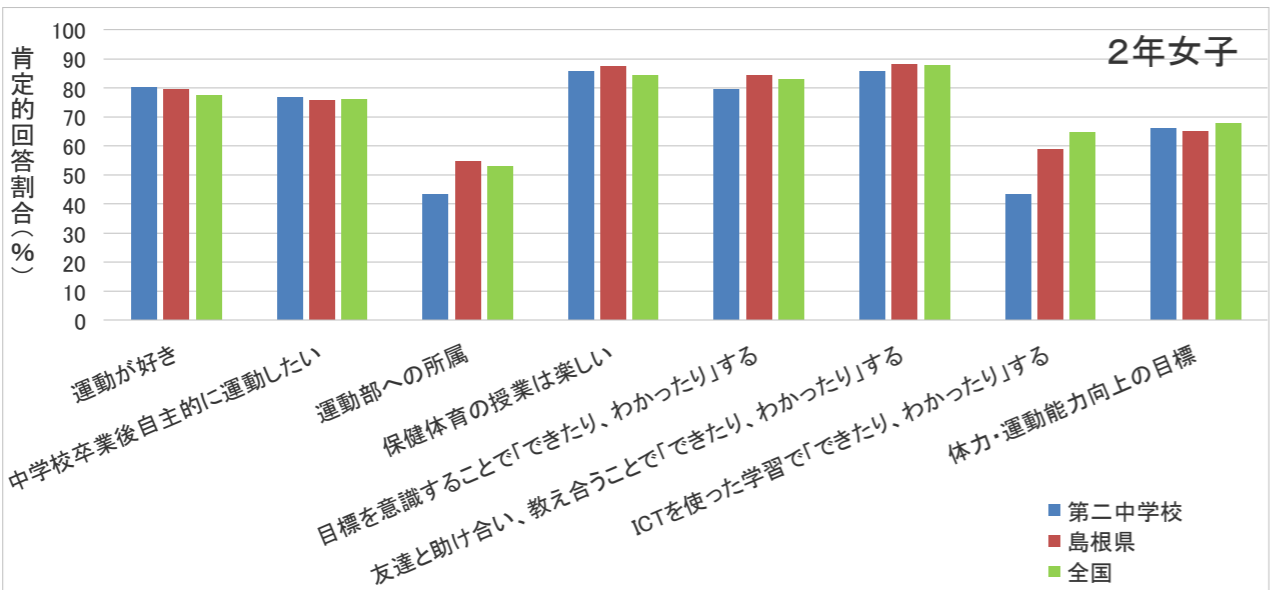
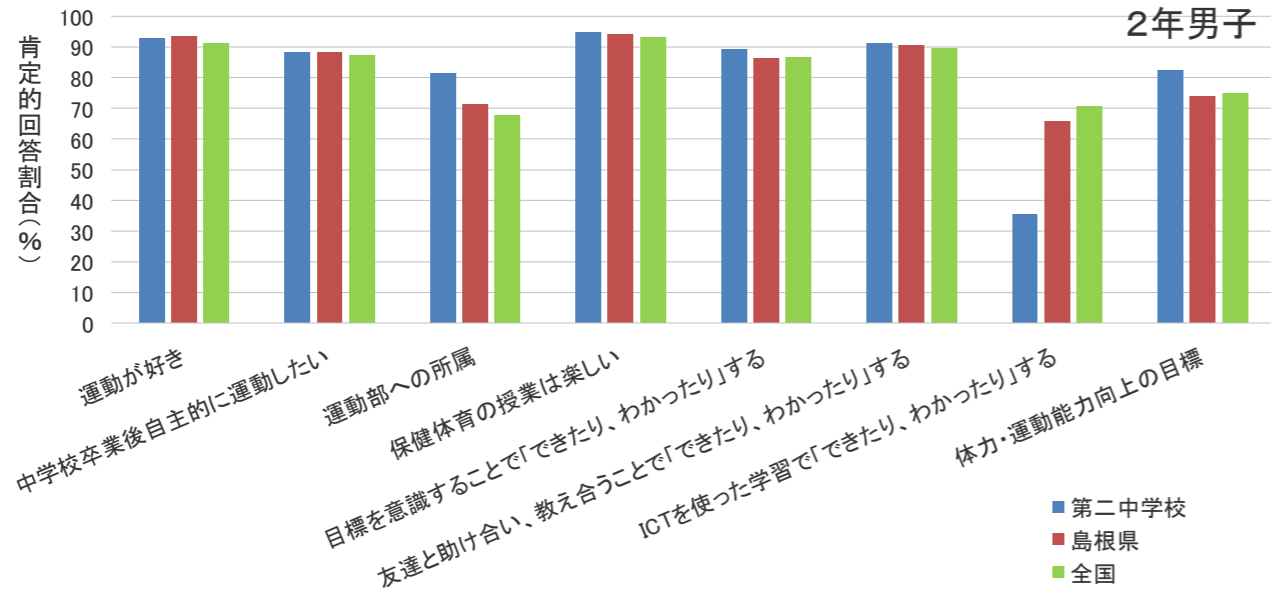


(1) 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査<意識調査>の結果  
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



(2) 調査結果の分析

① 体力・運動能力面 全国(偏差値)との比較

	握力(筋力)	上体起こし(筋持久力)	長座体前屈(柔軟性)	反復横とび(敏捷性)	持久走(全身持久力)	シャトルラン(全身持久力)	50m走(スピード)	立ち幅とび(筋パワー)	ボール投(巧緻性)
男子	-4.3	-2.6	-1.8	2.8	0.5	7.9	0.2	0.6	-2.9
女子	-4.9	-0.1	-1.2	4.0	0.0	8.8	0.2	0.6	-3.1

[-5p以上] [-5~-2p] [-2~0p] [0~2p] [2~5p] [5p以上]

弱み ← → 強み

② 意識面 全国(割合%)との比較

	運動が好き	中学校卒業後自主的に運動したい	運動部への所属	保健体育の授業は楽しい	目標を意識することで「できたり、わかったり」する	友達と助け合い、教え合うことで「できたり、わかったり」する	ICTを使った学習で「できたり、わかったり」する	体力・運動能力向上の目標
男子	1.8	1.1	13.9	1.5	2.7	1.7	-35.1	7.3
女子	2.8	0.8	-9.5	1.5	-3.3	-2.0	-21.5	-1.9

[-7%以上] [-7~-3%] [-3~0%] [0~3%] [3~7%] [7%以上]

弱み ← → 強み

(3) 令和8年度の方針【学校全体での取組】

① 持久力向上に向けての取り組み

今年度も毎月のシャトルランを実施してきた。持久力の面で少しずつではあるが向上してきている。ワークシートに記録をしグラフ化することで自分の成長を確認することができた。また、各学年男女別に上位20人程度を体育館へ掲示することで目標をもって取り組む生徒が出てきたと感じる。来年度も引き続き持久力向上に向けて継続していきたい。

② 本校の弱み、今後の授業改善

体力、運動能力面で、筋力と巧緻性の部分が弱点とわかる。体づくり運動や各領域を授業で実施する際に、補強運動を積極的に取り組み、筋力を高めていく。また、球技においてもボールを投げる動作を取り入れ、巧緻性も高めていきたい。

③ グループワーク学習、運動の二極化の改善

意識面では、男女それぞれ運動に対して肯定的に捉えている生徒が多い結果となった。さらに、グループワークを中心に仲間同士で教え合ったり、助け合ったりすることで達成感を得られたと感じている。来年度も引き続き、生徒主体で取り組める授業づくりを意識していきたい。また、運動に苦手意識をもつ生徒に対して、日ごろの授業から体育が楽しいと感じられるような授業内容の工夫、改善を行っていきたい。来年度は一人ひとりが授業の中で運動を終えての達成感、充実感を味わえることを重要視して授業展開していきたい。

④ ICTの活用

ICTの面で活用が不十分だった。本校では男女ともに運動に対する意識をさらに向上させていく必要がある。そこで、ICTを活用することで運動局面を見て分析することや課題解決に向けて考えていくことができると感じる。ICTの活用により、少しでも運動に対する意識が高まることを期待し、取り入れていきたい。